

肉用牛肥育経営診断について

財務面の診断、生産技術面の診断から抽出された経営課題を整理します。

人間ドック・健康診断と同様に、

○このままだとどんなリスクがあるのか？

○どのような数値・状態が望ましいのか？

○そのために何を変えていけばよいのか？

を助言書にまとめて、必要に応じ、診断報告会にてご報告いたします。

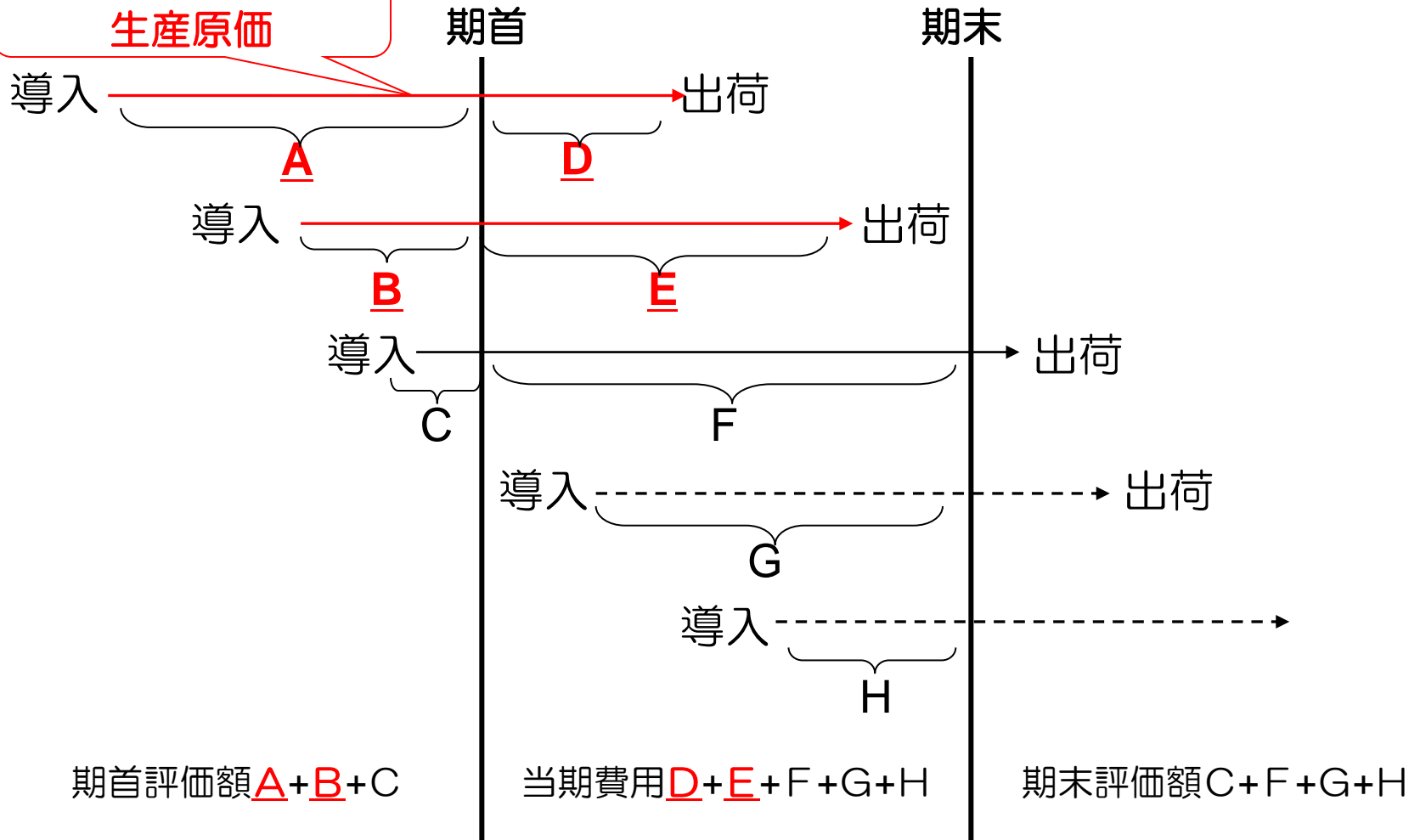
一般社団法人長崎県畜産協会

分析のポイント

1. 回転率（出荷・導入のローテーション）
経営面＝年間出荷頭数÷肥育牛常時飼養頭数
×100%
技術面＝365日÷肥育日数×100%
2. 事故率＝死亡廃用頭数÷肥育牛常時飼養頭数
×100%
 - 肥育日数の延長及び廃用、死亡に係る費用算出
3. 販売肉牛1頭当り生産原価と収益性（増価額）
4. 資産と負債のバランス
5. 飼養技術（出荷成績等）

販売肥育牛1頭当り生産原価について

販売肥育牛1頭当り
生産原価



$$\begin{aligned} \text{差引生産原価} &= \text{期首評価額} + \text{当期費用} - \text{期末評価額} \\ &= A + B + D + E \end{aligned}$$

増価額とは

増価額＝販売価格－もと牛価格

1頭1日当り増価額

＝（販売価格－もと牛価格）÷肥育日数

参考：肥育差益

＝【販売価格－（もと牛価格＋飼料費）】÷肥育日数

売上高だけで経営の良し悪しを判断するのは危険！！

増価額や差益で判断すべき！！